

Rodoku News

朗読ニュース

2023年
早春号

ご挨拶

立春



立春、二十四節気の最初、春の始まりの節気。時は流れ続けますが、季節は繰り返して戻ってきます。年は取り続けますが、一年は春と共に新たに繰り返して戻ってくるのです。

今年の春は皆様いかがお過ごしでしょうか。二十四節気の中の四つ区切り立春、立夏、立秋、立冬、気持ちの良い言葉と内容に、私たちは、寄り添ってきました。

立春は旧暦の正月、一年の始まり、春がはじまり、春がやってくる節気と言われますが、私は春が立ち上がる、春が立ち上がってくる立春といつも思っています。やさしく始まり、どこからかやってきてくれる春は嬉しいけれど、

立ち上がってくる力に惹かれるのです。

何事も立ち上がる、立ち上げるという動作と思いが好きです。朗読も書かれている文字表現の深い世界を音声表現によって、どう立ち上げるか、過ぎたら大事な文学や多くの作品に対して失礼にあたります。足りなければ更に失礼になり悲しいこと！過ぎず、足りなく無く、内容にしっかり沿いながら、そして大事なものは、作品への自分の思いを的確に心の形で添えていく…朗読者の力、立ち上げ方の力が問われます。朗読は一生のテーマですね！今年も元気によるしくお願いいたします。

名誉会長 加賀美幸子



朗読が担う文化とは何か。

「十年後存在しないかもしれない本と言葉と職種と我と」。これは4年前、天声人語で紹介された書店に勤める若き歌人、佐佐木定綱氏の作品である。言葉の積み重ねで生まれる文学作品。

その言葉が消えてなくなる。私どもの協会にとっては一大事でも不安にもなる。電車に乗れば大半の人がスマホ操作に夢中であながちこの不安は大袈裟とも言えない。本離れに歯止めがかからないのは事実だ。

司馬遼太郎とドナルド・キーンの対談「日本人と日本文化」の中で二人は熱く語り合っている。万葉集から源氏物語、枕草子、竹取物語、江戸文学の西鶴、近松、芭蕉。そ

して、近代文学の森鷗外らに至るまで日本文学と日本文化の係りを取り上げている。これら作品を読み続け、語り継ぐことが文化の伝承に繋がると語っている。

私どもの協会は「朗読文化の普及発展に寄与する」と定款に謳っている。「文化」は技術革新等でもたらされる文明と異なり、精神的分野にまでおよび何やら捉えがたく分りにくい。しかし、十年後も、作者が紡いだ言葉を大切にしながら地道に朗読を重ね、伝えてゆけば朗読文化形成の片鱗に貢献でき、これこそが朗読の真の姿ではないかと思っている。

理事長 伊澤逸平

第15回 朗読アラカルト

朗読の輪 広がる

第15回 朗読アラカルト

日時：2022年12月9日(金)
開演 11:00(開場 10:40)

場所：高輪区民センターホール
港区高輪一丁目16番25号
地下鉄 南北線・三田線 白金高輪駅下車
(1番出口) 徒歩1分

入場無料 / 全席自由

演出 / 倉田 ひさし 照明 / 志村 雅幸
音響 / 都甲 英治郎 選曲 / 園田 芳伸

日本朗読文化協会
TEL:03-6435-8355 URL:https://rodoku.org/

2022年12月9日(金) 第15回 朗読アラカルト

<p>A ステージ / 11:00 ~</p> <p>朗読者 / 大槻 幸生 「影」(山田洋次) 朗読者 / 高尾 亜子 「夜のある風景」 朗読者 / 武笠 守博 「愛つば」(山田洋次) 朗読者 / 山野 雅子 「年をとったシワの本のさいごの夢」 朗読者 / 高橋 貴美 「雪むすび」 朗読者 / 堀地 貴有 「野ばら」 朗読者 / 船本 由美子</p>	<p>C ステージ / 14:20 ~</p> <p>朗読者 / 中村 純子 「藤川できみに会う」 朗読者 / 池田 美穂 「羊と狼の森」 朗読者 / 津城 れい子 朗読者 / 藤谷 安次 朗読者 / 大沼 晴乃 朗読者 / 大槻 幸生 朗読者 / 大槻 幸生</p>
<p>B ステージ / 12:40 ~</p> <p>朗読者 / 中谷 真史 「無類の糸」 朗読者 / 合川 祥子 「すずかけ通り三丁目」 朗読者 / 若井 都子 「子供殺しの死」 朗読者 / 若原 早希 朗読者 / 得原 泰司 朗読者 / 朝比奈 聖美 朗読者 / 杉藤 貴子 朗読者 / 市原 タツ子</p>	<p>D ステージ / 15:50 ~</p> <p>朗読者 / 渡邊 洋子 朗読者 / 本間 真子 朗読者 / 竹田 ますみ 朗読者 / 山元 智子 朗読者 / 東海林 明 朗読者 / 大木 智香子 朗読者 / 松坂 貴久子</p>



一杯のコーヒーとともに

12月9日、「第15回朗読アラカルト」の舞台を終えて、ほっと一息。行きつきの珈琲店で味わう一杯のコーヒーが、いつもより美味しく感じられるのは気のせいでしょうか。

今回のアラカルトは、初参加という方が多かったのが大きな特徴です。しかも男性の参加者が増えたことも嬉しい出来事でした。

まだまだ予断を許さないコロナ禍という悪条件の中、多くの観客の皆さんに来ていただいたことも、わたしたち裏方(照明、音響、選曲、演出)にとって、この上ない喜びです。

多少のトラブルはあったものの、協会スタッフの皆さんの尽力のおかげで、当日の舞台はもちろん、イベント全体がスムーズに進行できたことにも、感謝と御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

美味しいコーヒーを飲み終わったら、ぶらりと美酒を求めて出かけることにいたします。

演出 倉田ひさし



① 楽屋前で説明



① 場当たり

初出演者のひとこと.....



◆鳥越雅子(Aステージ)

演出・音響・照明などプロの方のサポートを頂く中で朗読は初めての体験でした。朗読に集中することができ、更に朗読が好きになり、もっと上達したいと改めて感じました。また次回も参加したいです。

◆武笠守博(Aステージ)

思い切った挑戦でした。素敵な体験をさせていただきました。スタッフの皆さんに心からの感謝を。ありがとうございました。



◆雨野映子(Aステージ)

本選びに始まり、編集、台本作り、打ち合わせ、本番と多くの過程を体験致しました。又、実に多くの方々がこのステージを支えて下さっている事も知りました。素晴らしい朗読会でした。お世話になりました。

◆高橋貴美(Aステージ)

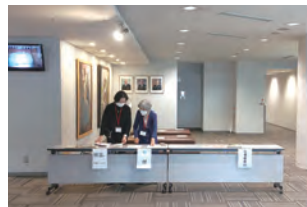
様々な意味で忘れられない思い出となりました。また大きな学びもいただきました。100字に思いを込めるのは、私の文章力ではなかなか至りませんが、感謝の一言に尽きます。本当にありがとうございました。



「第15回 朗読アラカルト」を終えて

先ず無事終えましたこと嬉しく思います。初出演の方、既に舞台朗読の経験を持つ方、そして各ステージには男性の朗読者、これこそアラカルトかと。これからも切磋琢磨しながら、聴衆の方にこれだと思われる会になれば素晴らしいです。演出の倉田ひさし氏並びに照明、音響、選曲を担って下さった方々の多大なるご尽力の下、また当日は多くの協会スタッフのお力をいただき、コロナ禍で制限のある中開演できましたことありがとうございました。

実行委員長 佐藤すみ江



① 受付準備





① A B 司会：
大槻之子
② Aステージ
カーテン
コール

③ 出番待ち



◆中谷良史
(Bステージ)

初めての朗読アラカルトにして、初めてお客様に聞いて頂く経験でした。読み始めは緊張から始まり、徐々に気持ちが始めて心地良く、終わってみるとああすれば、こうすれば良かったと反省。有難うございました。

◆合川洋子(Bステージ)

朗読を学び始めたばかりなのに、朗読アラカルトに申し込みしてしまったかな…?と不安に思いましたが、終わってみれば「貴重な体験ができて良かった。」と満足しております。



◆岩井郁子
(Bステージ)

初めて朗読を聴いたのは中学生の時、ラジオからでした。それ以来私もこんな風に朗読ができたらと、思いを募らせてきました。やっと願いが叶い、幸せな時を持つことができました。



④ Bステージ
カーテン
コール



⑤ 会場休憩

◆得居泰司(Cステージ)

ひごろアナウンスやラジオしている身で朗読を通じ言葉の大切さを学びたいなのか、着物きて張り切りすぎ、マイクのりや声の使い分けなど、普段の仕事にはない難しさをしり、益々がんばりたい、と思いました。



① C 司会：
木村さおり
② Cステージ
カーテン
コール



◆竹田ますみ(Dステージ)

アラカルトに初参加させて頂き、ありがとうございます。一緒に練習を積んでくれた相方に、教室の先生と仲間たちに、そしてスタッフの皆様へ心から感謝しています。楽屋での楽しいひと時も満喫させて頂きました!

◆東海林明(Dステージ)

演出家さんの前での本読み、音楽や照明プランをつけて頂いての朗読は初めてで、大変良い経験をさせて頂きました。他の出演者さんの作品もバラエティに富んだ様々な朗読が聞けて、とても勉強になりました。



③ Dステージ
カーテン
コール



スタッフのひとこと.....



◆堀越幸子

スタッフ初体験に近い私の役割は舞台裏で出演者対応です。初参加の方も多く心臓の鼓動が伝わって来る。朗読終了時の安堵と達成感に満ちた表情を見て思った。「私はこの笑顔が見たくてスタッフになったのですよ」と。

客席からひとこと.....

◆チャレンジを楽しんでいる方ばかりで、ワクワク感動のステージでした。

◆みなさまおじょうず。それでもその中に、「もっと聴きたいな」と「いつ終わるのかな」はありますね。高齢者になっても学ぶことはたくさんあります。ありがとうございました。

◆友人の朗読を聞きに行きましたが、面白くて次のステージも残って聞いてしまいました。とても楽しかったです。

協会の活動報告

●新入会員オリエンテーション

8月2日、4日と新入会員へのオリエンテーションをオンラインで行いました。地方からの参加もあり、オンラインの良さを感じました。協会の組織、歴史、行事等の説明の後は皆さん



と一緒に短い作品を朗読致しました。

事務室長からの是非お手伝いをの呼びかけに快くこれなら出来ますと、応えて下さった皆様方に心強さを感じました。

稲本由美子
恩田美穂



●朗読指導者養成講座

第一朗読指導者養成講座が昨年8月に終り、10名の方々が修了しました。朗読を聞いていると、その向こうに朗読者の生き様、人間力が感じられます。それらを育むことが、人の心を動かす朗読の基になります。指導者を目指す方にもっと人間力を付ける、朗読指導者養成講座を受けられることをお勧めします。

第二朗読指導者養成講座は4月22日から、募集は2月に始まります。ご応募お待ちしております。

朗読研鑽委員会



●「上手い朗読って、何？」朗読座談会

今回初めての試みとして開催した「朗読座談会」。会場には特別参加の加賀美幸子名誉会長、三田村雅子理事、中西和久理事、そして音源審査で選ばれた12名を含む、82名の方がご参加くださいました。

最初に、12名の方の自己紹介と1分間の朗読。これは、わずか1分間でもそれぞれのお人柄がわかったと好評でした。その後は、「上手い朗読って、何？」をテーマに参加者全員で90分間の座談会。たくさんの質問に時間が足りないほどでした。

アンケートには参加者の55%が回答。内88%が「非常に満足」あるいは「満足」と極めて高い評価をいただきました。これは、「朗読座談会」が参加者の皆さまに、自分事としてとらえていただけた結果だと大変うれしく思っております。

また、動画配信もご希望の方が多く、200名を超える方に平均60分ご視聴いただきました。手探りで実施した「朗読座談会」でしたが、皆さまのご協力を得て成功裏に終わることができました。どうもありがとうございました。

前尾津也子



「朗読座談会」参加者アンケートより抜粋

信頼と責任、客にゆだねる、人間性、取材力、聴く力など示唆をたくさんもらった／朗読の評価は手法、技法ではなく、内容と心、はかりがたい魅力があるものという言葉が響いた／わずか1分だけでも、力量や味わいがにじみ出ることを痛感／お1人お1人の背景が見える構成になっていたのがとても良かった／上手いと感じる朗読は、朗読者の存在を意識せずに作品の世界に惹きこまれてしまう朗読という発言になるほどと共感した。

●千葉いきいき大学教養文化講座

9月26日（月）千葉市民会館大ホールで、「届くことば、響くことばで伝えましょう」～朗読は日常を豊かにする～あなたの言葉は相手にちゃんと届いていますか。と言うテーマで、一部では、マスクをしていても相手に届く発声について母音言語を中心に蒔村三枝子がお話いたしました。二部では、蒔村三枝子と田中邦子の二人で三つの作品を朗読いたしました。

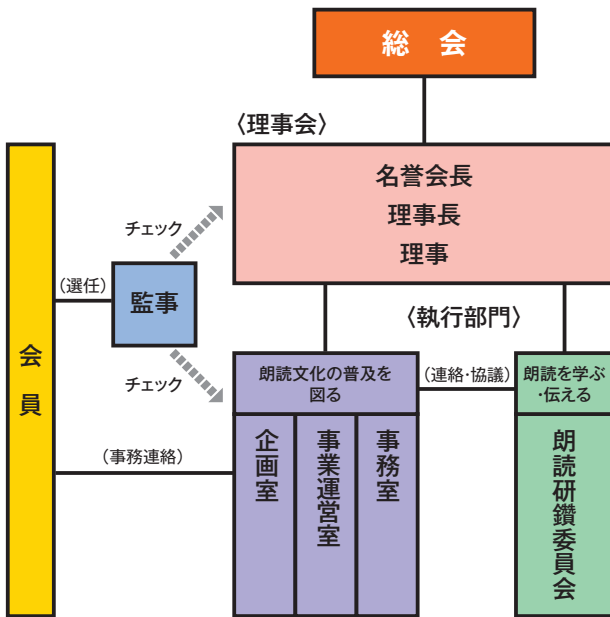
蒔村三枝子

協会の活動報告

●「朗読研鑽委員会」が発足

当協会活動の一つの柱として掲げている「朗読を学ぶ・伝える」をより一層明確に推進してゆくため、基本計画の策定、活動計画の立案、実施及び評価を行う部門として新たに「朗読研鑽委員会」が昨年10月1日に発足、活動を開始しました。

NPO日本朗読文化協会組織図 (2022年5月25日改訂)



トピックス

●朗読ボランティアグループかもめ



令和4年度
港区社会福祉協議会
地域福祉貢献賞
受賞!

今日までの「かもめ」に感謝し、本年度は、新しいメンバーも増え、来年度のかもめ設立20周年に向けて、力強く羽ばたいていきます。ぜひ一緒に活動しませんか。

●いばらき朗読コンクール

『川端康成のこころを詠むいばらき朗読コンクール』（主催：茨木市文化振興財団）本選が昨秋11月13日、文豪ゆかりの大阪府茨木市で開催されました。『伊豆の踊子』『古都』などの課題に全国から応募があり、予備審査に本協会講師陣、本選審査員に加賀美幸子名誉会長、中西和久理事、さらに伊藤比呂美（詩人）、太田治子（作家）、渡辺考（NHKディレクター）等の各氏があたりハイレベルな選考となりました。尚、最優秀賞を本協会々員東海林明氏が受賞。

中西和久

協会の活動予定

●『中西和久特別講座』朗読実験室

～太田治子『湘南幻想美術館』の世界～

日時：3月15日（水）14：00～16：00
会場：港区内（入場無料）

ギター演奏：蓮見昭夫 演出：中西和久

* 著者の太田治子さんも出席予定

●古典研究会「堤中納言物語」発表会

古典にふれてみませんか！ 3月23日（木）古典研究会朗読発表会を行います。作品は、平安時代末に編纂されたのではといわれる、日本で初めての短編小説集「堤中納言物語」。その中で、皆様ご存知の『虫愛ずる姫君』他。現代語訳も入れながらの朗読です。パワーポイントで映し出される絵と共に、お楽しみください。

阿部俐奈

●朗読ボランティアグループかもめ

第12回「かもめ朗読会」を3月31日（金）に高輪区民ホールにて開催いたします。コロナ禍の影響で5年振りとな



りましたが、新しいメンバーも沢山増えて、企画・構成・音響・照明など全てかもめ手作りの朗読会です。“愉しく開催”を目指しています。ぜひ会場へお運びください。

山村都

●第19回「朗読の日」



①第18回 朗読の日

6月17日、18日に銀座博品館劇場で行なわれます。観客の皆様の前で朗読出来る喜びを感じながら、出演者がどう表現するか、そして、それを支えるスタッフと一体となって「朗読の日」が形作られて行きます。出演者、実行委員会はその日に向けて動いています。観客、当日スタッフとしての参加お待ちしております。

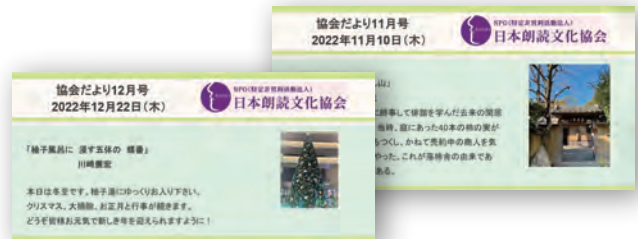
稲本由美子

掲示板 会員の朗読会と活動情報(2023年2月~2023年8月)

日程	公演名 ※開催日順・申込み順	場所	出演者名 ※複数の場合は、50音順
2月12日	千紫万紅の朗読の世界へ	ひたちなか市文化会館(茨城)	見澤淑恵
2月18日	茨木のり子冬の集い 心のふるさと庄内	コール田無(東京)	松島邦
2月19日	朗読の杜	YNサロンホール(成田)	永井喜代子
2月19日	ことばの玉手箱~原口大平話し手生活30周年	武蔵小杉サロンホール(川崎)	寺田理恵子
3月4日	朗読とピアノで織り成すファンタジー vol.8	茨城県県南生涯学習センター(茨城:土浦)	見澤淑恵
3月5日	山本周五郎朗読会	悠日(宇都宮)	青木ひろこ
3月9日~11日	私の知らない私の過去	MFYサロン(東京:西麻布)	河崎早春
3月12日	きつねのでんわボックス~戸田和代先生を囲んで	ホテルウイングインターナショナルプレミアム渋谷(東京)	大沼雪乃・中田真由美・前尾津也子
3月15日	中西和久特別講座 朗読実験室	港区内	中西和久講座受講生
3月18日	声の劇場	東武ホテルレバント東京(東京)	永井喜代子
3月18日	天雅泰幣~没後百年竹内浩三と遊ぶ	江古田兎亭(東京:練馬)	松島邦
3月21日	春宵感懐~朗読とピアノのライブ~中原中也と森鷗外	カデンツァ(文京区本郷)	青木ひろこ
3月23日	堤中納言物語	港区内	古典研究会
3月25日	朗読の森 2	アトリオン(秋田市中通2丁目)	安倍真壽美・塩田睦子
3月31日	第12回 かもめ朗読会	高輪区民センターホール(東京)	朗読ボランティアグループかもめ
5月07日	20回 あかさかな公演	内幸町ホール(東京)	内藤和美
5月13日	楽屋一流れ去るものはやがてなつかしきー	中目黒トライ(東京)	大沼雪乃
5月27日	5月の風の中で~朗読とクラシックギターの午後	ステッチ(東京 玉川上水)	青木ひろこ
5月28日	朗読三人の会	清澄庭園 大正館(東京)	阿部俐奈・三上実枝子
6月17・18日	第19回 朗読の日	銀座博品館劇場(東京)	NPO日本朗読文化協会
7月1日	めぐり逢いはすべてを越えて~NSPの音楽に載せて	内幸町ホール(東京)	寺田理恵子・中村悦子・松坂貴久子
7月15日	万華響	渡辺淳一文学館(札幌)	五十嵐和子・稲本由美子・高橋貴美
8月9日	未来への伝言 被爆ピアノコンサート	日本橋劇場(東京)	飯島晶子

協会だより

朗読ニュースでは伝えきれない月々の情報を、メール配信しています。加賀美名誉会長の出演番組の紹介・朗読公演・事務室からのお知らせなどを会員の皆さまにお届けしています。折に触れて「かもめだより」「事務室だより」も配信しています。HP・FBもぜひご覧ください。皆さまからの掲載希望情報・ご意見・ご感想もお気軽にお寄せください。



事務室からのお知らせ

★会費更新のお願い

2023年度会費の振込用紙を同封しました。3月末日までにお手配をお願い致します。年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円 (学生証のコピーを送付下さい)

★ボランティア保険加入 (期間：2023/4~2024/3) のご案内
全会員を基本コースに加入申込み致します (保険料350円は協会負担)。天災コース (保険料600円) をご希望の方は、追加保険料250円を会費と共に振込ください (通信欄にその旨をご記載下さい)。また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務室へご一報下さい。

★2023年4月期申込み受付開始

会員 2月13日(月) 10:00~
一般 2月16日(木) 10:00~
・詳細は同封の「朗読教室のごあんない」をご覧ください。

★新入会員情報

(2022年7月~12月入会順 15名)
櫻井裕・矢幅芳子・阿部公子
藤井千佳子・木島由江・松尾かすみ



緑河博子・安島香・只木浩恵・山木梨花
萩尾千鶴子・足立美津子・阿部道子
中込今日子・村杉知子

★朗読指導者養成講座

2023年度申込み受付期間

2月1日(水)~3月6日(月)必着。
その後選考があります。4月開講・詳細はホームページまたは同封の「朗読指導者養成講座」をご覧ください。



編集後記

新しい年が始まりました。うさぎのように可愛らしく、びよんびよんと軽やかに弾んで生活できる毎日になると嬉しいですね。マスク越し、画面越しの生活が続くなかで、生身の体でふれあうことが少なくなったように思います。

こんなときこそ、生身の体で語る朗読がひととき、疲れた心の体を潤してくれることを願ってやみません。(I)

担当：朝比奈恵美 池田雅子 大沼雪乃 田中邦子

